

ICHIKASHI PRIDE

柏市立柏高等学校
校長通信
第6号
令和4年3月24日

今日で令和3年度が実質的に終了しますが、みなさん、ご機嫌いかがですか？

今年度も昨年度と同様に新型コロナウイルスの感染拡大に対応しながらの1年となりました。昨年度のような数ヶ月にわたる臨時休校や分散・時差登校はなかったものの、学校生活においては様々な制限が引き続きあり、感染が拡大するたびに学校行事が縮小や中止となったり、部活動の大会等が中止となるケースがありました。オミクロン株の出現により、コロナに感染したり、濃厚接触者となってしまった生徒は昨年度より多くなりました。学校生活においても、また、家庭生活においても感染拡大防止のために、様々な制限がある毎日を過ごしている生徒諸君の忍耐と頑張りにあらためて敬意を表します。

ところで、先日の3月8日は3年生の卒業式でした。昨年と同様に在校生諸君に出席してもらうことはできませんでした。卒業生も、部活動や生徒会活動等をとおして一緒に頑張ってきた後輩たちがいない卒業式は、さぞかし寂しく、残念だったことと思います。それでも、卒業生たちは、胸を張り、笑顔で本校から旅立っていきました。本当に素晴らしい式でした。皆さんが卒業する時には、後輩たちに見送られ、大きな声で校歌が歌える、そんな卒業式に戻れることを願わずにはられません。

先日の卒業式で、本校保護者会の会長様から卒業生への祝辞の中で次のようなお言葉をいただきました。大変素晴らしいお話で、私が常々皆さんに伝えていることにも通じるところがありましたので、ここで紹介したいと思います。

『挑戦をすることは成長に繋がりますが、リスクも伴います。しかし、挑戦しないこともまたリスクなのです。それはなぜでしょうか。挑戦をしないことは成長のチャンスを捨てることになるからです。変わり続ける世の中で変化しないこと、それが挑戦しないことのリスクです。』

本校の校訓を実践する人間であれ、と私は皆さんに言い続けています。その校訓の1つである「より高く」を実践することが大切であるというお話だと思っています。

最後に、年度の切り替え時期というのは、今年度を振り返り、次年度に向けた目標を新たに定める時期です。今年度の校長通信第1号の見出しは『2021年度のあなたは何かをする？理想の自分を思い描いて』でした。この1年間、あなたはどんな自分を理想として、その理想に近づくために何をしてきましたか？あなたの手帳の最初のページにはどんな目標が書かれていましたか？今年度に「できたこと、できていないこと」をしっかりと認識して、2022年度の目標を春休み中に立てておくようにしてください。

七転八起

私の高校の卒業式は3月1日でした。志望大学に合格できず、浪人することに決めていました。卒業式当日のことはあまり記憶にないのですが、その翌日のことはよく覚えています。卒業式の翌日は、友人と遊ぶ約束をしていて家を出たのですが、玄関から一歩外に出た瞬間、何とも言えない不安に駆られました。幼稚園、小学校、中学校、高校とそれまで常に自分が所属すべき場所があったのに、高校を卒業した翌日から自分が所属する場所がどこにもない身分になってしまった、そんな心細さと不安を初めて味わいました。高校生に戻りたい気持ちでいっぱいになりました。

Keep studying, practice hard, polish your skills, and NEVER give up on your dreams!